

PACK ON No.10

表紙の特集 PACK ON 10 周年記念《似顔絵・部門別総決算》

許してください部門

女性の似顔絵は難しい。周りの人に「わあー、そっくり」と言ってもらえるものを書いて、往々にしてご本人は「私はこんな顔じゃない」と思っておられる。かといって、気を使ってちょっと手を加えたりすると、これはこれで「似てない」と叱られる。いずれにしても敵にまわす覚悟で描かなければならないわけだ。岡大病理の《松岡さん》と《大森さん(現・倉敷第一病院)》、金田病院の《楳本さん》は、うしろから2、3発蹴り入れられるのを覚悟で思いきって描いてみた。これも親愛の情のあらわれと理解していただきたい。



よっしゃあ部門

基本的に似顔絵が得意でない私だが、ときにガッツポーズをとりたくなるような似顔絵ができあがることもある。岡大病理の《秋田さん》、金田病院の《村上さん》《水島さん》はその数少ない例だ。通常の似顔絵描きは、ラフな下描きをベースにしてそれを少しずつ修正していくが、このお三方については、まったくの無修正(!)。ほとんど一筆書きに近い感じでできあがった。いつもこうだと悩まなくていいのだが…。



脱帽部門

他個紹介の似顔絵は基本的に私ひとり描いているが、ほかの方に描いていた顔がいくつかある。岡山赤十字病院の《宮尾さん》の顔は、岡山協立病院の松岡さんによる作品だ。この似顔絵は現在も「宮尾行雄のウンチク三昧」に使わせていただいている。倉敷中央病院の《桐野さん》の似顔絵は、同院の他部所のだなたかが描かれたものさそうである。どちらもいいところをついた似顔絵で脱帽するほかない。これからは私にかわって描いてほしいと思うのがどうだろうか。



番外編



ヨッ、哲じいさん!

「これを岡山済生会病院の《清水さん》の似顔絵として使ってください」と渡された。似ているのか似ていないのかよくわからないが、だいたいの人となりは伝わってくるような気がする。

笑って許しておくんまし!

悩みました部門

自分のイメージでは楽に描けるだろうと思っている顔なのに、どうがんばってみてもうまく描けないことがある。似顔絵は、これが一番つらい。倉敷中央病院の《玉田さん》、《梶谷さん》、河本病院の《前田さん》には本当に苦労した。で、最終的には奥の手を使ってなんとか押し込んだわけだが、いまだに心残りではある。「イイ女・イイ男は似顔絵にしにくい」ってことで、ここはひとつご容赦いただくとしよう。



前口上

■好評シリーズ [PART 10]

リレー・他己紹介

■入魂連載 Vol.5 [パソコンオタク K presents]

コンピュータ・ワンダーランド

■連載コラム・宮尾行雄の

ウンチク三昧

■もう笑うしかない 連載第4弾

大講釈「超個人的大疑問」

■知っていれば役立つ細胞所見

ワンポイント講座②

■シリーズ第2弾・平成こだわり人クラブ

道を極める

■あなたと私の情報通信

細胞検査士会だより

■三宅康之氏、またまた快挙！

小島三郎記念技術賞を受賞して

■今年の新入会員をご紹介

新人さん、いらっしゃい！

■好評連載 {晶榮のリラックスタイム}

ちょっと読んで見ませんか

■四の五の言わずに読んでみられい！

コラム・うちの本棚⑤

前口上

世はまさに精度管理の時代である。あっ、ちょっと待った！。「精度管理」の文字を見ただけで、「なーんだ精度管理の話か…、じゃ今回の前口上、パス」と思った精度管理拒否症のあなた。こむずかしいこと書かないから、ちょっと読んでいっておくんなせい。

現在行われている細胞診精度管理のあり方は、学校の家庭訪問に似ている。精度管理にともなう周辺環境とでもいうべきものが、じつに酷似しているのではないかと思われるのだ。

例年わが家では、家庭訪問の日程が決まると、訪問日の二日ほど前から、夜な夜な室内の掃除ならびに整頓が始まる。先生にとっ散らかった室内を見せてはならない——その一心で眠い目をこすりながら、年に何度もない室内大改造が行われるわけである。しかしそれは、家庭訪問の本来のあり方として正しいことなのであろうか。家庭の日常的なありのままの姿を見ていただく、そこにこそ家庭訪問の意義があるのではないか。…と妻に主張してみたが、「そういうわけにはいかん」と一蹴された。

この、いわば「よそ行き態勢」とでも表現すべき状況が、精度管理と家庭訪問に共通する周辺環境である。たとえば、「細胞診標本を直接顕微鏡で見る」という形式の精度管理を想像してほしい。あなたには、顕微鏡を覗く前から「さあ、精度管理やるぞーっ、矢でも鉄砲でも持ってこい！」といった妙な気合が入ってはいないだろうか。そしてその気合が、普段とは違う細胞所見の読みへとあなたを導いてはいないだろうか。実際、精度管理の標本をながめながら、「ルーチンだったら擬陽性までに止めるが、精度管理だから悪性とする」みたいなこ

とは誰しもが経験しているところだろう。これらすべては、精度管理に対する「よそ行き態勢」のなせるわざである。精度管理を精度管理だと意識して行っている限り、じつは本当の意味での精度管理にはなっていないのだ。

可能であるなら、ルーチン標本中にルーチン標本として精度管理の標本を紛れ込ませるのが、精度管理を意識させないで実施するベストな方法だろう。ただしこれには多大な労力が必要である。その労力たるや、クリスマス前に子供に親の存在を悟らせないでサンタさんのプレゼントを段取りするお父さんの苦勞の比ではないはずだ。また、ヘタすると職場全体を疑心暗鬼に陥らせ、最悪の場合、人間関係を壊す可能性もある。さらに、精度管理を仕掛けた人に対する精度管理はどうするのか、という問題も出てくるだろう。

以前、本会会長であり細胞検査士会の全国委員として精度保障委員会の委員長も務めておられる三宅康之氏に、細胞診精度管理のあり方についてお話をうかがったことがある。三宅氏いわく「できれば自分が精度管理用の標本を抱えて各施設を直接訪ね、その場で鏡検・回答してもらって即回収する、そんな精度管理を一度やってみたい」。そのうち、標本の入った風呂敷包みを背中にしょって（べつに風呂敷包みでなくてもかまわないが…）三宅氏があなたの職場に現れるかも知れない。

「成長の時代」から「維持の時代」へ。何よりも精度管理の重要性が問われる時代、それはまさに今なのである。

西日本病理研究所 真田拓史さん



真田さんをご紹介させていただきます。

真田さんは、まじめに仕事をこなし、後輩への面倒みもよいと職場では評判です。しかし家に帰ると、オールシーズン、ビアで今日の疲れを取ると聞きます。実際、忘年会や旅行での宴会でも、真田さんの前には必ず空き瓶が三本以上あります。なくなると、私がそそくさとお酌をしたり、追加の注文をするといった役目をおおせつかっております。

《本人の一言》

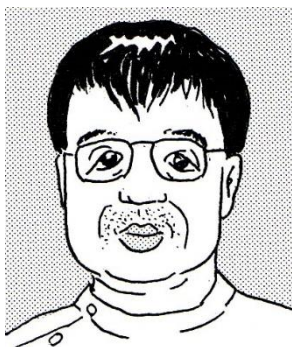
ご紹介ありがとうございました。子供の成長を楽しみしている私です。私は、大酒飲みではありませんので誤解がないようにお願いします。では、お互いに仕事と

お子様が四人（女の子二人、男の子二人）おられまして、とくに男の子には自ら野球教室をひらき、「我が家からプロ野球選手を生み出すのだ」との意気込み（うわさでは、星一徹のようにスパルタ的な指導をしているという）でがんばっているらしいとのこと。その目的はなんと、左団扇で老後を暮らしたいからだとか。まあ、とにかく、まだ元気に仕事を続けてもらいたいです。

また、真田氏はC党であり（ちなみに、松本女史はT党、私はG党）、例年では、Tの戦いぶりの悪さをのしっているところでしたが、今年は雰囲気はかなり異なっていて、あの八十五年のごとく快進撃を邁進しているTになんとか追いつけのG、Cであると二人で話し合っています。でも、この原稿が載るころは、もしかして一位T、五位C、六位G（?）。そうならないことを密かに祈っている私です。（岡本哲夫）

もどもがんばりましょう。今後ともよろしく願います。

西日本病理研究所 岡本哲夫さん



岡本さんは当病理検査室に十数年勤められており、一時期組織診も担当されていましたが、ずっと細胞診検査で中心的に仕事をこなされています。CTとしてもベテランで、いろいろ皆に頼りにされています。

もう八年ほど前（そんなに経つんですね…）、私が新人の検査技師として病理に配属になった頃から殆ど変わっていないのではないかと思います（外見では。性格は丸くなってきたように思いますが）。岡本さんに

は忙しい時間を割いてもらって仕事に勉強にいろいろ教えてもらいました。私が細胞検査士になれたのも、岡本さんの指導とアドバイスのおかげといっても過言ではないと思います。後輩の指導や仕事がうまくいよ

うにとの気配りなどができる人です。社交的で顔の広い人なので、ご本人をご存知の人も多いと思います。とにかく一度会えば見忘れることはないと思います（いろんな意味で）。（松本智穂）

《本人の一言》

過分なご紹介ありがとうございます。いまだに最近の若い人を指導することがへただなとつくづく思っています。自分の理解が足りないのか相手なのか時々不安になります。皆様はどう対処されているんでしょう

か？。なにはともあれ、10年勤めさせていただいた研究所ですので、一から再出発の思いで、もてる力120%出し切ってまいります。今後ともご指導よろしくお願い致します。

西日本病理研究所 松本智穂さん



松本智穂さんの紹介をさせていただきます。

智穂さんとの出会いは平成七年の春でした。愛媛県出身の新入社員として病理に配属になった彼女の第一印象としては、おとなしくて少し暗い感じがしました。今もそうですが口数が少ない人です。こんな子が「ここでやっていけるのかな？」と少し不安になったことを思い出します。それが今は細胞検査士となり、現在に至っています。

細胞検査士修業時代の智穂さんは、レポート提出や勉強会参加等は完璧にやってくる人でした。また、勉強も計画性を持っており、地道に努力する感心なところがありました。その甲斐あって見事に合格したことを覚えています。

性格は真面目です。そして指示・命令に対しては最後まで実行するというとてもよいところがありますが、言わないと何も反応しないというところもまたあるわけです。良いのか悪いのか分かりませんが…。

《本人の一言》

真田主任、紹介ありがとうございます。あまり特徴が無いので書くのが大変だったのではないかと…。口数が少ないのは人見知り(?)のうえ、しゃべるのがうま

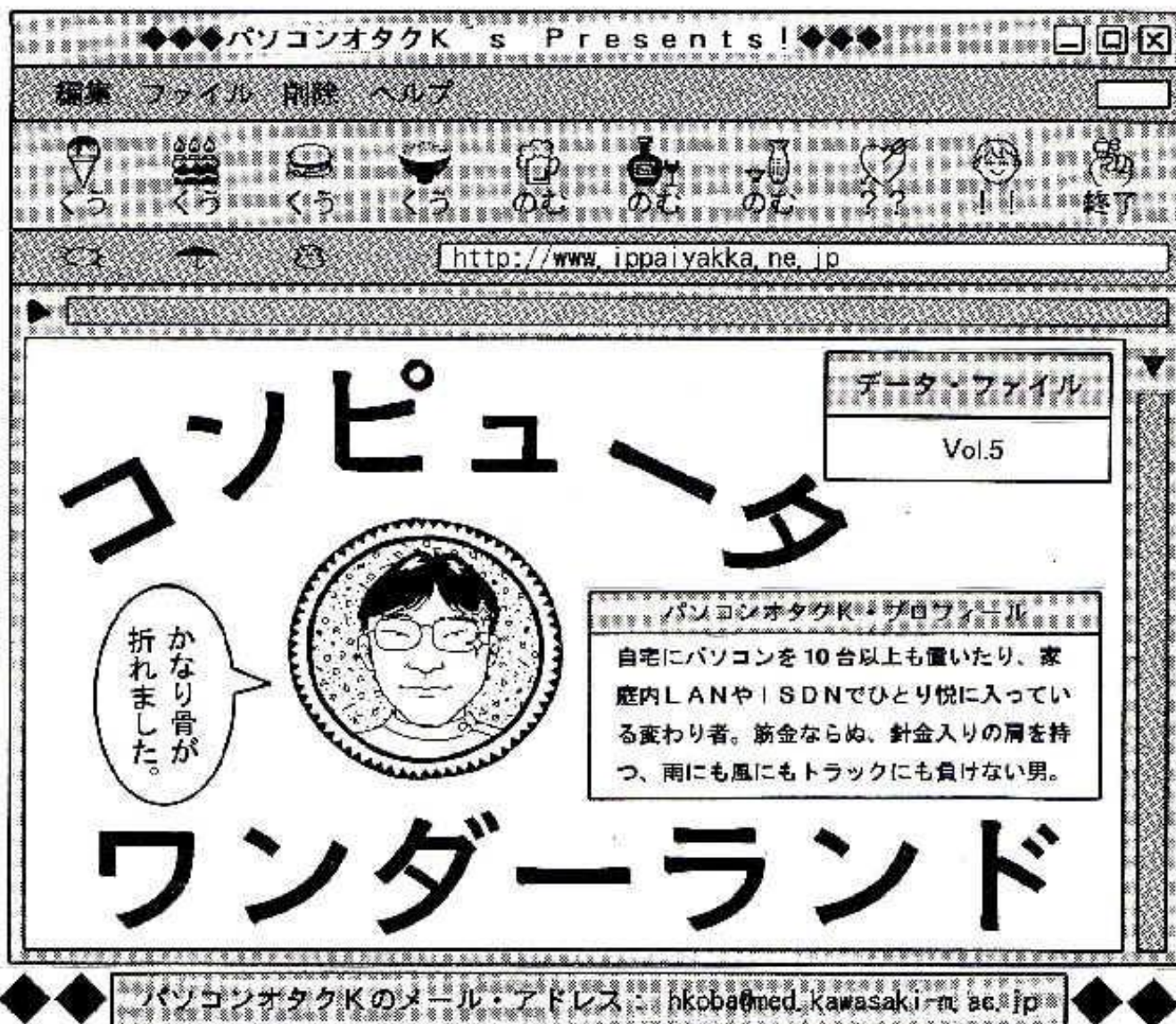
智穂さんは見た目よりは明るいですが、本当のところはどうなのか、よく分からないところでもあります。時々、実家で採れたみかんを職場に持ってきたりしてくれます。なぜだかわかりませんが、プロ野球の話になると気が合います。ちなみに智穂さんは阪神タイガース、私は広島カープのファンです。プロ野球シーズンは、二人で話しが盛り上がっています。周りには少し白い目で見られますが…。小耳にはさんだうわさでは、阪神の応援でちょこちょこマスカットスタジアムへ出かけているとか。「今年は阪神優勝じゃ！」と張り切っています。また、これもよくわからないのですが、智穂さんの小さい頃の話をよくしてくれます。「昔は私なんか小遣いなんて無かった」とか、小学校の時の話など、なんでここまで覚えているんじゃないか？というところまで話さず（調子がよければ…）。

性格のとおり、真面目で丁寧な仕事をする人なので、とりあえず安心して仕事を任すことができます（時々裏切られることもあります）。いつも「勉強しなくてはいけない」「頭が腐る」など、わけのわからないことを連発しながらもくもくと働いています。現在、子宮内膜細胞を則松さんのご指導のもとに修行中です。しばらくこの修業はつづくと思いますが、智穂さんなりに一生懸命がんばっています。暖かい目で見守ってあげてください。

西日本病理研究所の隠れた星ですので、今後も可愛がってやってください。無愛想と思いますが、声をかけてやってください。意外に明るい会話ができるかもしれませんよ！（真田拓史）

くないからなんです（多分）。まだまだ勉強不足なところもありますので、これからご指導よろしく願います。

■入魂連載 Vol. 5 [パソコンオタク K's presents]



猫も杓子もブロードバンドで快適インターネット！が飛び交う今日この頃、いかがお過ごしでしょう？

自称パソコンオタクのKです。前回お話したケーブルテレビでインターネット繋ぎっぱなし、Pentium3.1Gヘルツを二つでDual CPUという、当時では夢のようなパソコンは、前回の原稿を書いたすぐ後で手に入れました。今回はちょっとその話から。本体は銀色のオールアルミで放熱効果抜群、HDD（ハードディスクドライブ）は120GB（ギガバイト）、DDR-SDRAMメモリー（速いやつ）1GB、DVD RAM9.4GB、CD-R/RW×20（倍書き込み）、640MBのMO、TVチューナー内蔵、SCSI3カード、19インチモニター、3モードFDD

（フロッピーディスクドライブ）、総額は自分で組み立てたにもかかわらず30万を軽く超えてしまいました。あちこちの店で部品を買ったので、知らず知らずのうちに費用がかかっていましたが、レシートを見て愕然としている自分に「これは絶対に必要なんだ」と言い聞かせたのはもちろんです。いまだに増設やら、改造をやっているもので、本体は中身がむき出し状態です。この方が放熱効果は高いかも。なにしろHDD3台にCPUが二つも入っていますので、ふたを閉めたら熱暴走しそうです。二四時間つけっぱなしなので、冬は暖房器具としての利用価値も十分です（夏は…?）。しかし、こんなフルスペック（何でもかんでもそろっているという意

味)のマシンでも一年も経たない間に古スペックです。現時点では、CPUは Pentium4・2.53Gヘルツが最速で、Pentium3の1Gヘルツはすでに製造終了のニュースが出ていました。部品を最新のものに取り替えていけば、いつまでも最速が保持できるのですが、そんなお金はありません。

年1回発行のこの紙面で、最強パソコンが自慢できる日は来そうにもありません。やっぱりパソコンは我慢できなくなったときに買い、後を振り返らず、周りも見ないのがベストです。ところでこのコーセーノパソコン、OSには信頼性で定評のWindows2000を入れていましたが、先日何の断りもなく壊れてしまいました。ソフトウェア的な故障はシステムを再インストールすれば直るのですが、壊れたのは2台のHDD(60GB×2台)のうちの一つで、システムと必要な全てのデータを入れた方でした。HDDの機械的な故障で、結局修復はできませんでしたが、保証期間中だったので新品と交換してもらえはしたものの、最新のデータを取り返すことはできません。古いデータはあちこちのメディアにバックアップしていたのですが、さすがにこれだけHDDが大きいとバックアップはDVD-RAM9.4GBがあっても簡単にはできません。

これに懲りてHDDをもう1台増設して計3台(180GB)とし、うち2台をRAID0でミラーリングしました。ミラーリングというのはデータを保護する方法の一つで、2台のHDDを繋いでデータの書き込みを2台同時に行い、片方が壊れても残りの1台がデータを保持する方式で、主にサーバー機(ネットワークの中心となるコンピュータ)に使われる技術ですが個人ではほとんど使われません。というも、2台のHDDが1台分しか使えないのはもったいないからです。しかし、バックアップの手間と壊れたときのこと考えるとこれが最良でしょう。そもそも今回組み立てたのはパソコンというよりワークステーション(パソコンの兄貴分)ですか

ら、標準でミラーリング機能が付いていました。みなさんも大きいHDDを付けるときにはバックアップの方法も十分に考えてください。HDDは壊れやすい消耗品ですから。現在OSもWindowsXPに替え、それなりに動いています。テレビの録画やDVDの鑑賞もできます。DVDはふつうのテレビよりもパソコンの解像度が高いので画面は綺麗です。そのうえ19インチといっても目の前にありますから大画面の迫力が楽しめます。ただし、音に関してはお金をかけなかったのでもっとしょぼいですが…。

DVDに関しては、マニアの間で高級な再生専用機ではなくパソコンで再生し、液晶プロジェクターで鑑賞することがはやっています。先にも書いたようにパソコンでは水平解像度を見ても家庭用テレビの二倍は綺麗に見えるはずですが、液晶プロジェクターはほしいのですが、自室が四畳半ではちょっと…。

話はかわりますが、先日ちょっと入院することがありました。ベッドにつながれて二日もすると、毎日パソコンに触れているこの指がタバコとパソコンを欲しがって夜泣きするので、しかたなく(当然、主治医には内緒で)ノートパソコンを取り寄せ、折れた肩にムチ打って痛みをこらえながらキーを叩いていました。懐中電灯を持って見回りに来た看護婦さんには「リハビリやってます。もう寝ますから」でパソコンは良かったのですが、さすがに気胸で胸にチューブが刺さったまま隠れてタバコを吸うのには勇気がいりました。なにしろ一口吸っただけで咳き込んで叫びたいほどの痛みが襲ってきます。みなさん、肋骨が何本も折れているときには喫煙に注意しましょう(とくに病室では隣室の人に誤報される危険有り)。今では、そんな血のにじむような(いや、ほんとににじんていたと思われる)涙ぐましい努力の甲斐もあって、ちゃんとタバコを吸うことができるようになりました。めでたし、めでたし(やめんかい!)



さあ、集部の一部でうけている、別の一部ではページの無駄使いと言われている、吉例Q&Aコーナーです。今回の悩める子羊は誰かな？

まだまだやります！パソコン Q&A

Q1. IT不況という言葉をよく聞きますが、これってなに？コンピューター売れなくなったってこと？それにしちゃあ大型電気店はコンピュータ関連の専門館を出したりしてるし、どういうわけなのかな？

A1. IT不況とは、「インターネットがすごいで～！」の声に踊らされ、情報機器の関連が爆発的に儲かるという予想で会社の経営方針たてていたところが、それほどでもなかったことにより、経営不振になっていることです。単に経営判断のまずさをITのせいになっているだけの気がします。発表によるとパソコンは前年比一〇%減少で、現在、薄利多売状態となっています。そのためCMや売り場を拡大してできるだけ売ろうとしているのでしょう。ユーザーにとってはありがたいのですが、どうも壊れやすいような気がするのは、私だけ？

Q2. 田舎なのでADSLが来ない（もちろんケーブルテレビも）。どうしたらいいですか。

A2. 他の方法としては光通信、衛星、専用線などがありますが、お金はないが根性がある場合は、光通信に懐中電灯を使って自分でピカピカやりましょう。使用機器はスイッチのハンドリングが良いものを選び、1秒間に1000回以上ON/OFFができれば、そこそこのスピードが期待できます。夜しかできないことと、相手がいないことを除けば電池代だけでできるかも。ただし指が疲れるのでほどほどに。お金がある場合は迷わず自分で衛星を打ち上げましょう。衛星や打ち上げ用のロケットは、近所のパソコンショップでは見かけませんが、ネットで探してみてください。NASAでさえ、中古部品をネットで買っているのですからヤフーオークションに出ているかもしれません。それでもだめなら専用糸電話で。

Q3. ネット・サーフィンの極意について（極意なんてあります？）。いろいろなホームページに関するお楽しみ情報を教えて！

A3. ネット・サーフィン（次々とホームページを渡り歩くこと）の極意は、いかに効率よく目的のページを探すかに尽きます。これについては検索の表記方法について勉強してください。しかし今、インターネット利用について局所的に熱いのはWinMXです。これはファイルを共有（みんなが使える場所にファイルを置いておくこと）する事を建前に音楽やプログラムをコピーする仕掛けです。これは違法性が問われており、逮捕者まで出ましたが、いっこうにやめる気配はなく、どんどん利用者が増えています。常時接続や、ブロードバンドを利用する人が増えたことの弊害でしょうか？ただ、ある音楽メーカーでは、WinMXによるファイルコピーよりもCD-RによるCDのコピーの方が大きな問題とコメントしていました。

なお、くれぐれもご利用は、自分の責任で行ってください。では、深みにはまらないうちにこのへんで。



ウンチク三昧

●30 年前の疑問

もう 30 年も前のことですが、パパニコロウ先生の名前はなぜ日本語で「パパニコロー」と表現されないのだろうと疑問に思いました。疑問には思ったものの、その後 25 年間、その疑問さえ忘れて、時は過ぎたのです。

5 年前に、パパニコロウ先生のフルネームが「ジョージ・ニコラウス・パパニコロウ」であり、ギリシャ生まれであることを知りました。ギリシャ語の発音を日本語風書くと、「ゲオルギウス・ニコラオス・パパニコラウ」となります。

なーんだ、ゲオルギウス聖人とニコラオス聖人の名前を重ねたものに法王の「パパ」を付け足したのか、癌の早期発見というすごい仕事をした人だけあって、名前もすごい！。ゲオルギウス聖人は豊饒と正義を守り、ニコラオス聖人は未婚の女性の守護聖人なので、子宮癌のリスクとは少し違うけど、まあいいか。

そうだ、ニコラオスは勝利の女神「ニケ」に由来する名前だ。ルーブル美術館に行ってニケを見てこようか。ちょっとキザかな。まあいいか…。



ウンチクの種

【ニケ】

ギリシア神話の勝利の女神。戦争だけでなく競技・技芸にも勝利を授ける。アテナ女神に従ってあらわれる場合が多い。ローマ神話ではウィクトリア・ナイキ。（講談社日本語大辞典・第二版より）

大講釈 2002 『超個人的大疑問』



**Presented by
M.Fujita**

人間、歳を重ねるにしたがって、知識が増えると同時に、なにかしら「疑問」のたぐいも増えていくものようだ。もちろん疑問と一口に言ってもその内容は千差万別であって、一生懸命がんばって調べれば解決できるものもあるだろうし、何をどうやってもわからないものもあるだろう。

今回の大講釈では、これまでとやや趣向を変え、私が長い間抱えてきた、あるいは最近不思議だなあと感じている数々の疑問について、恥をしのび

つつ、ここに大公開させていただく。ただし、いずれの疑問も答えが得られたからといって、心が豊かになる、生活にうるおいがもたらされる、などということはほとんど期待すべくもないことを先にお断りしておきたい。

中には、インターネットなどを通じて調べてみたものの、ついに答えのわからなかったものもある。また、ちょっと調べりゃわかりそうなのに、はなから調べる気さえないものまでさまざまである。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」とはいうものの、なんだか「聞くは一生の恥」みたいな、ま、言ってみれば「どーでもいいようなこと」ばかりのような気がしないでもない。ではあるけれども、自分の中でくすぶらせておくのもまた、スッキリしないわけである。

ってことで、ここはひとつ賢明なる読者諸兄のお知恵を拝借して明るい明日を迎えようじゃないかという、じつにどうも身勝手な企画とあいなった。もしも「俺にまかせろ」「私、知ってる」という方がおられたら、ぜひともご一報いただければ幸いである。

●自動車の謎

モノゴコロついてから今日に至るまで、自動車というものにまったくといっていいほど興味が無い。運転免許を持ち、日常的に運転もしているのだけれど、自動車そのものについては「屋根がついてて走ればOK」という程度の思い入れしかないのだ。運転免許は、大学時代に友人から一緒に取りに行こうと誘われて、「まあそのうち必要になることもあるだろうからとりあえず」くらいの軽い気持ちで取りに行ってみた。それがなかったら果たして取っていたかどうか疑問である（もちろんまじめに通わなかったのだから、教習期限の六ヶ月ぎりぎりまで滑り込むように取ったのは言うまでもない）。自動車も必要に迫られたから買っただけで、初めて納車されたときには「自分のクルマ

を持ってうれしい」というよりも「支払いとか維持が大変だなあ」という思いのほうが強かったような記憶がある。

子供のころスーパーカー・ブームなんてものがあったのだが（覚えてますか?）、ブームが去ったあと私の記憶に残ったものといえば「ランボルギーニ」なる言葉ひとつのみであった。クルマの名前らしいことはなんとなく聞いたような気がする。ただ、どんな格好のクルマなのか今もって皆目見当もつかない。セダンとかクーペとかも、ずいぶん長い間、どこかのメーカーの車の名前だろうと思っていた。

それほどまでに、自動車に関しては「無知」といって差し支えない人間にとって、自動車は謎の塊

りなわけだが、基本的に興味がないので別段気になることなどなかったのである。ところが最近、妙に気になってしかたのない自動車の謎を発見した。

あらためて言うまでもないが、自動車はタイヤで走っている（いかに無知とはいえ、そのくらいは私にもわかる）。これまで私の乗ってきたクルマのタイヤは、だいたい次のようなものであった（図1）。太さや径は車種によってさまざまだろうが、横から見たカタチとしてはだいたいどれも同じようなものだろうと私は思っていたのだ。



ところが街中で目にするクルマの中には、頻度的には少ないものの、やや形状の異なるタイヤをつけているものがある。何が違うかといえば、見てのとおり、黒いゴムの部分が妙に薄っぺらいのだ（図2）。



このタイヤはいったい何なのであろうか。薄っぺらいことで何か機能的に有利なことがあるのだろうか。ま、この件に関しては、純粋に技術論的なことであるし、ちょっと調べればわかるだろうな、とも思うので、「よかったら誰か教えてね」というところにとどめておこう。私が気になっているこ

とはその先にあるのだ。すなわち、**黒いゴムの部分が妙に薄っぺらいタイヤをつけているクルマのウィンドウは、なぜ濃いスモークガラスなのか？**

私の観察によれば、濃いスモークガラスのクルマが必ずしも薄っぺらいタイヤであるとは限らない。しかし、薄っぺらいタイヤのクルマはほとんど例外がないくらい、濃いスモークガラスである。それも外から車内が一切見えないほどの、真っ黒クロスケの濃度のスモークガラスなのである。あそこまでかたくなに車内を隠さねばならない理由とは何か。中で何やらよからぬたくらみでもなされているのでは、と勘ぐりたくなるのも人情というものであろう。薄っぺらいタイヤを買うと、クルマ屋が「お客さん、そのタイヤにするんだったら、やっぱウィンドウは黒くしていただかないと」とか言いながら薦めたりなんかするのだろうか。ご存知の方、ご一報ください。

ついでに、バイクに関しても以前から気になっている疑問がひとつあるので、ここに記しておきたい。

ハーレー・ダビッドソンというバイクがあるでしょう。ハーレーとひとくちに言っても、たぶんいろいろな車種があるのだろうとは思うのだけれど（よく知らないけど）、その中でも荷物を積むとこなんかがたくさん付いている、妙に横広な印象のバイクを見たことはありませんか。そう、どちらかというとおとなし目の、ごっついスクーターみたいな感じのバイク。あのタイプのハーレーに乗っている人の服装が、ほとんど例外なく「映画によく出てくるアメリカの警察官」ぽいのはなぜ？。ひょっとしたらあのハーレー買った人にはもれなく付いてくるのだろうか。あるいは、「ハーレーに乗車する際には、あのカッコすることを誓います」と一筆書かなければバイクを売ってもらえないとか。ご存知の方、ご一報ください。

● 気になる木の謎

「♪この木なんの木気になる木…」で始まるあのCMソングを知らない日本人はひょっとしたらいないんじゃないか、と思えるほどおなじみのあの歌。正式なタイトルは「日立の樹」（作詞・伊藤アキラ、作曲・小林亜星）だそうである。サザエさ

んのエンディング・テーマを聞いて「ああ、お休みが終わっちゃうなあ」と感じる人は多いらしいが、それとほぼ匹敵する数の人々が「この木なんの木…」を聞きながら過ぎ行く休日への、そこはかかない寂寥感を感じているのではないかと私は推測

する（当然私もその一人である）。

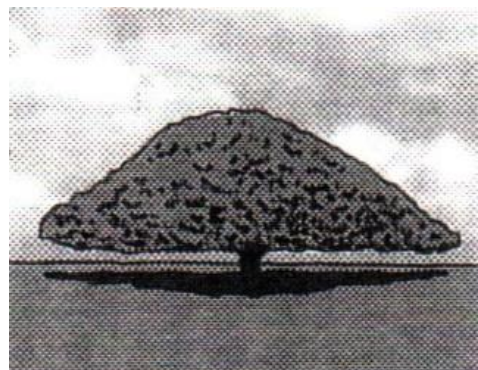
ところで画面に出てくるあの巨木、すなわち「気になる木」っていったいなんの木なのと、誰もが疑問に思うところであろう。先に申し上げておくと、ここでの謎とはそのことではない。なぜならば、この疑問は日立のホームページを覗くと一発で解くことができるからである。ちなみに日立のホームページの中にある「日立の樹」のコーナーによれば、現在放映されているあのCMの木は、「名称：モンキーポッド（学名：サマネア・サマン、俗称：アメリカネムまたはサマンの木）、樹齢約120年。中南米を原産とする豆科の植物で、広く亜熱帯の各地に分布。大きく広げた枝の葉はシダに似た形で、その葉は午後になると閉じ、日の出とともに開く。年に2回、5月と11月の頃、花を咲かせる」、ということだそうである（図3）。

ついでに言うておくと、「この木なんの木」のCMはシリーズものとして製作されており、CMソングの方はずーっと変わっていないが、画面に出てくる「気になる木」は、毎回違った世界各地のいろいろな木が使われ、現在の「気になる木」で六代目になるらしい。

さて、そこで私の疑問とは何かというと、話しは再びあのCMソングに戻る。すなわち、これだ。

「この木なんの木…」の歌を歌っているのは誰？

前述のとおり、作詞・作曲者名はあちこちに記載されていてすぐわかるのだが、歌っているのが誰なのか、いくら調べてもどこにも出ていない。私としては、あの声と歌いグセから、なんとなく町田義人（「白いサンゴ礁」でおなじみのズーニブーのボーカル、映画・野生の証明の主題歌「戦士の休息」が有名）っぽい感じがしているのだがどうだろう。それともまったく世間に名前さえ知られていない誰かなのか？事情通の方、ご一報ください。



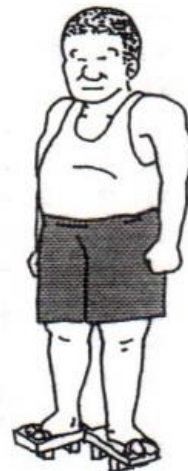
● 半ズボンの謎

私の気のせいかもしれないけれど、どうにも気になるので、ここに疑問を提示させていただく。

年々、男たちの半ズボンの丈は長くなっていったか？

かつて男モノの半ズボンの丈はかなり短かったのである。たとえばそれは、時々放映される80年代あたりのVTRでのアイドル系ファッションなどから裏付けられると思う。テレビ番組「SMAP×SMAP」で時々やってる、かつてのアイドル番組のパロディー企画（ヤンヤン歌うスタジオか？司会役は「あのねのね」の二人だし…）を見ればわかるが、そこでSMAPの面々が着用している半ズボンは確かにズボン丈がかなり短い。そして当時それはカッコいいことであつたらしいのだ。バミューダとかいう丈の長いタイプの半ズボンはあつたが、これなどはオッサンくさいアイテムとして当時の若者には敬遠されていたのだった。

そんな、短いのがカッコよかった半ズボンの丈が長くなり始めたのはいったいつからなのだろう（まあこのあたりは、ファッションに多少なりとも興味のある方なら即座に答えられることなのかもしれないが、私にゃわかりまへん）。今や、男モノの半ズボンの丈は、ほとんど例外なく「裸の大將・山下清」型が一般的である（図4）。



うちにも何本(何枚?) があるが、いずれも「裸の大将」型だ。おそらくこれは、いわゆるストリート系といわれるファッションの隆盛と連動しているような気がする(が、詳しくは私にやわかりまへん)。ここ十数年の間に、ダボーン、ズルズル、ダランダランとした服がカッコいいってことに世の若者のトレンドはひたすら向ってきたのであった。

今年の冬、私は市内の繁華街で、きわめて丈の長い半ズボンをはいているあんちゃんを目撃した。ひざ下15 cmくらいはあったと思う。しかもこのあんちゃんの全体像を観察したところ、「オレ、ファッション的には先端を走ってっからね!」みたいなオーラをみなぎらせていたのであった。もしもこれを最先端ととらえるなら、今後、男たちの半ズボンの丈はますます長くなる方向へと向かっていくに違いない。すなわち、「裸の大将」型から「おそ松くんのデカパン」型への移行である(図5)。



それにしても、「裸の大将」も「おそ松くんのデカパン」も、私のアイデンティティーの中ではカッコいいものに含まれないのだが、世の中の認識は違うらしい。

そういえば「ズボンずらしファッション」っていうのも、なんだかカッコいいものみたいになってるしなあ…。ジェネレーション・ギャップだろうか、あれだけはどうしても理解できんぞ、私には。ほんとにカッコいいのか、あのスタイル? 私服レベルはまだいい(あまりよくないけど)。制服でズボンずらしてる高校生、即刻やめなさい(と、声を大にしても、この会報を読む高校生はほとんどいないだろうから、そのような高校生をお持ちの親御さんに向かって書くことにしよう)。

そもそも制服はカッコ悪いのである。それをなんとかアレンジして、自分なりの個性を出そうという試みは、中高生のころ誰もがやることで、そのことについて否定する気はない。でもズボンずらしは方向性が違うだろう。マイナスとマイナスをかけるとプラスになるのは数学の世界だけのことだ。いや、百歩ゆずって数学的に考えたとしても、カッコ悪い制服をカッコ悪く着崩すのは単純に足し算の世界であり、マイナスとマイナスを足してもマイナスは大きくなるばかりである。そこそこ、よく考えるように。…と、ご子息にお伝えください。それでも制服のズボンをずらしているようだったら、「よく見たらカッコいいね」とかなんとかおだてて、その姿を写真に収めておこう。何年後かに息子がグダグダ言うような事態が発生したとき、この写真を大きく引き伸ばして写真パネルを作り、「玄関に飾るぞ」と脅せば、即座に息子は更生するであろう。

話が逸れた。とにもかくにも男たちの半ズボンの丈がどんどん長くなっていってるのはまぎれもない事実のようである。このままでいくと、あと五、六年後には半ズボンの丈は長ズボンを追い越してしまうのではないか。それを考えると夜もおちおち眠れない(ウソです)。

● 山田太郎の謎

えー、なんと申しましょうか、これこそほんとにどうでもいい疑問なんですけど、鏡検しててなんの脈絡もなく不意に浮かんできたので…、いや、やっぱりやめよかな…、えーいっ、思いきって書いてちゃえ!

山田太郎の嫁さんは紅屋おかめ?

私の記憶では確かそうだったような気がするのだけれど…。山田太郎も紅屋おかめも知らんわいっ! て方は、無視して次に進んでください。ご存知の芸能通の方はぜひご一報を。

● 5%の謎

まがりなりにも細胞検査士の会報である以上、せめてひとつぐらい細胞診に関係した疑問はないのかと、ぼちぼち会員各位からツッコミが入りそうなので、ここらでひとつ取り上げてみたい。

細胞診標本の湿固定には、95%エタノールを使うわけである。そんなことは当たり前、細胞診のイロハのイじゃないかとお立腹の方もおられようが、まあ待たれい。さて、95%ということはつまり、残り5%は何かしらエタノール以外の別のものが入っているということになる。教科書のどこを見てもとくに注釈などないことから、この5%は酢でも醤油でもなく、水と考えるとさしかえないただろう。では、**この5%の水の意味って何？**

そもそも、水の量の5%は誰がどのようにして決めたのだろう。5%と決まった根拠ってなんだ？。6%ではダメなのか。いや、たぶん大丈夫だろう。

では7%では？。これも大丈夫なんじゃないか。だったら、半端なことはいわず、キリのいいところで、持ってけドロボー、10%でどうだっ！（あのね、たたき売りじゃないんだから…）。逆に、水を含まない純エタノールや特定アルコール99度以上なんてやつをそのまま使ったら、にっちもさっちもいかないような標本になってしまうのか。そんなこともないでしょう、たぶん。私の知り合いには、細胞診用の95%エタノールをメスシリンダーで測って作っているやつがいるが、それって意味のあることなのだろうか。たとえばそこまで厳密性を求めるなら、容量比でいくのか重量比でいくのか、そのへんまでキッチリしとかないと片手落ちだろう。「この件については過去に追試したことがある」なんていう、博学で酔狂なあなた、この謎にぜひご解答を。

● 28分の謎

引き続き学術ネタをもう一本。

病理検査に従事しておいでの方なら、28分という数字を見ただけで、「ああ、あれね」と気づかれたのでは？。

何年前か、県内の病理検査室にPAM染色の標準法が紹介された。現在私たちも、その方法に準じてPAM染色を行っており、おおむね良好な結果を得ている。だからこの方法にケチをつけようなどという気はさらさらしない。ただひとつだけ、どうしてもよくわからないところがあるので、賢明なる皆様にお伺いしたいのだ。それは、標準法手順でいくと4番目にあたる。すなわち、

5%クロム酸液・28分って、なんで28分なの？

どう考えても半端でしょう、28分って。30分じゃだめなの？。ねえ、30分にしちゃおうよ。28分に消費税分の5%をのっけて30分！。どう？、だめ？（われながらメチャクチャな理屈だなあ…）。

たとえば体重50kgの女性が55kgになったら、これはゆゆしき問題である。「あれっ、ちょっと太った？」などと、ヘタすればセクハラで訴えられかねないことを言う男も出てくるであろう。

では体重80kgの女性が85kgになったとしたらどうだろう。一応、「あちゃ〜っ」と本人は思うだろうが、おそらく最終的には「ま、いっか」で収まるのではないかな。もちろん、セクハラで訴えられかねないことを言う男も出てはこないであろう。ねっ、そんなもんでしょう、28分と30分の関係って。違うか（ますますメチャクチャな理屈になった気がしないでもない…）。

こんな話がある。何人かで朝七時に集合して遊びにいこう、てなことになった場合、集合時間を「7時」としておくと、必ず何人か遅刻するやつが出てくるものだそうである。遅刻するやつはたいてい決まっていて、彼は（彼女でもいいけど）、集合時間の「7時」を「7時ぐらい」と認識しているわけである。「ぐらい」だから、5分や10分は誤差のうち、ときには30分近くも遅れて来たりする。どうも困ったもんである。このような遅刻を防止する手立てとして、集合時間をキリのいい時間にしない、という方法があるそうだ。たとえば、集合時間を「6時58分」とする。ここにはもう「ぐら

い」は存在しない。58分といったら58分なのである。かくして遅刻者はいなくなる。

5%クロム酸液の28分には、ひよっとしたらそんな意味が込められているのではなからうか。ほんとは30分でもよかったのだ。でも「30分」というキリのいい時間にすると「30分ぐらい」と油断している間に2、3日が経過してしまっ取り返しのつかないことになるかもしれない(いないって、

そんなやつ!)。だからあえて半端な「28分」とした—— そんなふうには考えられないだろうか。そこまで人間心理を読みきったうえでの28分であるとしたら、これはなかなかにするどい時間設定であると言わざるをえない。ううむ、標準法あたりがたし。

…と、勝手に自分で決めつけちゃったが、異議のある方は申し出てください。

● ロビンソンの謎

さて、今回ドンジリの謎は、スピッツのロビンソンである。ここで、「ああ、スピッツか…、昔はよく吠えたよね」と思われた方は、この先読み進んでいただいても得るものは何もないと思われるので、ビールでも飲んで寝ちゃってください。お疲れ様でした。

ロビンソンって何?

これは、私に限らず多くの方がお持ちの、いわばポピュラーな疑問であるらしい。インターネットで「ロビンソン」をキーワードに検索かけてみたら、山ほどサイトが引っかかってきたけれど、その中でもちょいちょい話題にされているネタだったから。ただ、私が目を通した範囲では、それに関する解答らしきものはどこにも見当たらなかった。

楽曲「ロビンソン」の歌詞を詳細に眺めてみても、ロビンソンなる言葉は出てこない。ただしこのような、歌詞内容とどう関連するんだか理解に苦しむタイトルも過去に例がないわけではない。サザン・オールスターズの「勝手にシンドバッド」なんかはその一例だろう。もっとも、「勝手にシンドバッド」の場合は、当時人気のあった沢田研二の「勝手にしやがれ」とピンクレディーの「渚のシンドバッド」をくっつけて、勢いでつけちゃったという大義名分(?)が一応存在しているわけだし、その曲調自体、勢いでつけたタイトルと違和感ないものではあった。

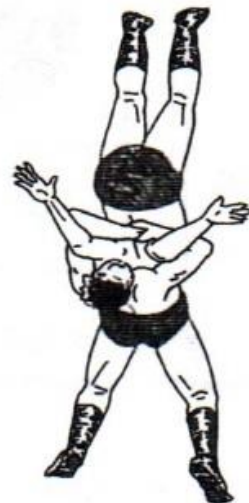
しかしロビンソンの場合には、それとは少し話しが違うような気もするのだ。ロビンソンは七〇年代フォークを彷彿とさせるような曲調の、牧歌的なイメージのある佳曲であり、世代を超えた人

気を博して、スピッツの名を広く世に知らしめた。そんな曲に勢いで意味不明なタイトルをつけるといのも変な話ではないか。

一般にロビンソンといえば、人の名前であると考えるのが妥当であろう。とすると、ロビンソン・クルーソーあたりに由来するのだろうか。しかし歌詞内容とはあまりにも無関係すぎる気がする。

じつは私は、「ロビンソンとは何か(誰か)?」について一つの仮説を持っている。「誰も触れない二人だけの国 君の手を離さぬように 大きな力で空に浮かべたら ルララ宇宙の風に乗る」

わが仮説によれば、謎を解くカギはこのサビの部分にあったのだ。結論を申し上げよう。この歌詞を読み解くことによって導き出された「ロビンソン」とは、往年の名プロレスラー「ビル・ロビンソン」である。ビル・ロビンソンといえば、なんたって彼の代名詞とも言える必殺技、ダブル・アーム・スープレックス(通称「人間風車」)が有名なわけである(図6)。



では、図をご覧いただきながら、サビの部分の歌詞を検証してみよう。

①誰も触れない二人だけの国

これはすなわち、60分1本勝負、一対一で戦う男のリング上にはなんびとたりとも立ち入ることはできない、二人だけの国にほかならない、ということであろう。

②君の手を離さぬように

人間風車の成否のカギは、相手の両腕をしっかり確実にホールドすることである。ここで手を離れたのでは、技は成功しない。

③大きな力で空に浮かべたら

図を見ていただければ一目瞭然、人間風車はかなりの力技であり、並外れた筋力を必要とする。その筋力をもって、相手を空に浮かべるがごとく高々と抱えあげるのである。

④ルララ宇宙の風に乗る

ルララは、ビル・ロビンソンの雄叫びだ。外国人だからそのぐらいのことは言っても不思議ではない。宇宙の風に乗るとは、人間風車によってマットにたたきつけられた相手レスラーの意識が、宇宙の風に乗ったがごとく薄れていく状況をやや叙情的に表現している。

どうです皆さん、一点の破綻もない完璧な理論ではありませんか。

というわけで、スピッツの「ロビンソン」は、プロレスラー「ビル・ロビンソン」と、私的には決定した。

なお、ここで検証した以外の部分の歌詞については、「ビル・ロビンソンの日常を描写している」ということで納得していただきたい（納得できませんか、やっぱり…）。

■知っていれば役立つ細胞所見

細胞所見ワンポイント講座②

《 体腔液細胞診と collagenous stroma 》

collagenous stroma は、パパニコロウ染色でライトグリーン好性の無構造物質として認められる細胞外基質である。collagenous stroma を含有する細胞集塊は形態的に、I型：扁平な細胞で覆われるもの、II型：1～2層の立方状の細胞で覆われるもの、III型：3層以上の細胞で覆われるもの、の3型に分類することができる¹⁾。

I型の細胞集塊は、我々の検討では、体腔液検体の0.7%に認められ、とくに胸腔・腹腔の洗浄液では、それぞれ45%、24.1%と、頻度が高い²⁾。腹水洗浄液中に認められるI型の細胞集塊の中には、卵巣表面の表層上皮で覆われた、腺線維腫様の小結節に由来するものや^{1, 2)}、手術操作により人為的に漿膜表面の中皮細胞がその直下の線維性結合織とともに剥離したものなどが含まれているとみられ、臨床的意義は少ない。

これに対して、II型の細胞集塊は良性疾患で認められることはむしろ稀で、中皮腫、卵巣明細胞腺癌の症例で高頻度に認められる傾向がある¹⁾。中皮腫では24%～57.1%^{1, 3)}、明細胞腺癌症例では87.5%の症例で認められ、中皮腫より明細胞腺癌でとくに頻度が高く、その他の悪性腫瘍では通常認められない。通常のパパニコロウ染色では中皮腫と明細胞癌の間で collagenous stroma の性状に違いは認められないが、免疫組織化学的検討の結果から、中皮腫の場合はIII型コラーゲン、卵巣明細胞腺癌の場合はラミニンやIV型コラーゲンなどの基底膜物質より構成されることが示唆されている^{1, 4)}。基底膜物質を有するII型の集塊は、卵巣に限らず、子宮頸部・体部・膣などに発生する明細胞腺癌でも出現するが、卵巣に比べて稀な腫瘍であることから、実際に腹水細胞診

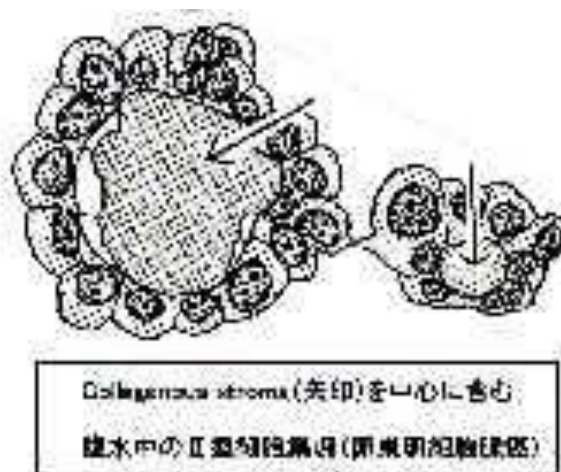
などで遭遇する明細胞腺癌の集塊の多くは卵巣に由来するものと考えてよい。

Ⅲ型の細胞集塊は反応性中皮細胞と中皮腫の両方で観察されるが、その出現頻度はそれぞれ、0.05%、28.5%である。Ⅲ型の細胞集塊は明細胞腺癌では認められないことから、中皮腫に特徴的な所見と考えられる。

collagenous stroma を有する細胞集塊の成因として、①体腔表面の細胞がその直下の間質とともに分離して出現した、②剥離した細胞が体腔液中で集塊を形成してから collagenous stroma を形成した、などの可能性が考えられる。Ⅰ型の細胞集塊は前述したごとく、①によるものと考えられる。一方、Ⅱ型およびⅢ型は②によるものと考えられる。実際、悪性の中皮細胞を培養したところ、細胞集塊の中心部に膠原線維の形成が認められたとの報告もある⁵⁾。明細胞腺癌の場合も、基底膜物質がときに腫瘍細胞の細胞質内にみられることがある点⁴⁾、明細胞腺癌から樹立した培養細胞が基底膜物質を産生することが電顕的に示されている点などから⁶⁾、剥離した腫瘍細胞が体

腔内で増殖し、中心部に基底膜物質からなる芯を形成したと考えるのが妥当と思われる。

以上、collagenous stroma を有する細胞集塊の形態の特徴と意義について述べた。とくに原発巣および組織型が明らかでない場合、collagenous stroma を有する細胞集塊は有益な情報を提供してくれることから、その特徴を理解しておくことは重要と考えられる。



(川崎医科大学附属病院・畠 榮)

【参考文献】

- 1) 畠 榮、他：体腔液細胞診における collagenous stroma を有する細胞集塊の細胞学的特徴ならびに診断的意義について 日臨細胞学会誌, 1996, 35:217-223
- 2) Wojcik, E. M., Naylor, B. N., "Collagen balls" in peritoneal washings: Acta Cytol, 1992, 36 : 466-470.
- 3) Triol, J.H., Conston, A.S., Chandler, S.V.,: Malignant mesothelioma cytopathology of 75 Cases seen in a New Jersey Community Hospital. Acta Cytol., 1984, 28 : 37-45.
- 4) Mikami, Y., Hata, S., Melamed, J., et al.: Basement Membrane Material in Ovarian Clear Cell Carcinoma: Correlation with Growth Pattern and Nuclear Grade. International Journal of Gynecological Pathology 1999, 18:52-57
- 5) Castor, C.W., Naylor, B., Characteristic of normal and malignant human mesothelial cells Studied in Vitro, Lab Invest 1969, 20 : 437-443
- 6) Wong WS, Wong YF, Ng YT., et al.: Establishment and characterization of a new human cell line derived from ovarian clear cell carcinoma. Gyn. Oncol. 1990; 38: 37-45

道を極める

第2回

HALLO EVERYBODY! WACHIです。

この冊子が皆さんの手元に届く頃には、季節は初夏。ジメジメした梅雨も終わり、カラッと晴れた青い空に、白い雲。暑いながらも、そよ風は心地よく、日陰に入れば快適！って感じではないでしょうか。普通の人ならば、「ちょっと高原で…」って感じになるのでしょうか、そんな情景を想像しただけで、釣りに行きたくなっちゃうくらいの釣りキチの私。釣りと名が付くものなら何でもやりたいのですが、何でもやっているとお金と時間がないので、主に擬似餌（ルアー）を使ってやる釣りをやっています。

◆バス釣りの何が楽しいの？

本来、ブラックバス釣りは、食量を得るために魚を捕るという釣りではなく、釣るという行為を楽しもうという釣りなのです。そのために無益な殺生をさせて、”釣った魚は、その引きを楽しんだ後、生きてまま逃がす”キャッチ・アンド・リリース（Catch & release）という概念に則っています。このような、引き味を楽しみ無益な殺生をしない釣りのジャンルを「スポーツ・フィッシング」と呼びます。

ブラックバスという魚は引きが強く、掛けてから取り込むまで間に何度もジャンプを繰り返す、ファイトします。一度釣ったらヤミツキになること間違いなしです。しかし、よく海釣りをする人から、「食べれん魚釣ってなにが楽しいの？」と聞かれることがあります。ただ引きを楽しむだけなら、いくら引き味が楽しくても、すぐに飽きてしまうことでしょう。じゃあ、ただ引きを楽しむだけではないとすれば、何を楽しんでいるのでしょうか。それは、「戦略→実行→結果」という風に、その釣りがあたかも一つのゲームをしているがごとく成り立つ釣りだからです。バス・フィッシングは、季節、天候、気温などからどこに釣りに行けば釣れるかを考え、道具を買いそろえたり、準備をし、いかにしてバスを釣るかの戦略を立てるところからスタートします。つまり、釣りに行く前からゲームは

いわゆるルアー・フィッシングってやつです。なかでも比較的近場でちょっとした空き時間でも楽しめるバス・フィッシングにハマっています。

さて今回は、反町隆史や木村拓哉までもが趣味にしているブラックバス釣り（バス・フィッシング）の楽しさについて述べていきたいと思います。ブラックバスを釣って見たい人、やってみたけど思うように釣れなかった人は必読です。

始まっているのです。もう一つのポイントは、ルアーという偽物の餌を使用することです。ルアーには、本物の虫や、魚そっくりのものもありますが、一見なにをまねているのかわからないような物や、アニメのキャラクターの格好をした物まで様々です（図1）。



その生きていないルアーに竿とリール・糸を通じて、アクションを加えることで生命を吹き込み、バスとの知恵比べをします（だまくらかしているだけで、ブラックバスには知恵比べをしているという認識はないでしょうが…）。その知恵比べに勝って、考えどおりに魚が釣れたときには何ともいえない満足感に浸れます。そこが一番の楽しみなのです。

一日でも早く、この文章を読んでいる人がその満足感を得られるように、ここで「奥義」を伝授しましょう。そ

の奥義とは、「ブラックバスの居場所を理解すること」です。これさえ理解しておけば、あとは目的の池なり、川で、

◆どこで釣れるの？

ブラックバスは、1925年にアメリカから、赤星鉄馬氏が芦ノ湖へ、釣り産業の発展を目的として3匹の親魚と77匹の稚魚を放流したのが始まりです。現在では、南は鹿児島から北は青森まで、日本各地の池や川などの淡水領域で見られる魚ですが、ほんの20年くらい前までは、ごく限られた場所、たとえば芦ノ湖をはじめとする富士五湖、琵琶湖(滋賀)、霞ヶ浦(茨城)、生野銀山湖(兵庫)、東条湖(兵庫)、白竜湖(広島)などにしか棲んでいませんでした。

では、なぜ全国に広がったのでしょうか。世の中では、釣り人のゲリラ放流によって日本各地に広がったと真しやかに語られています、一部の釣り具メーカーなどによって組織的に放流されたとの噂も。また、琵琶湖にブラックバスが定着したのがきっかけで、全国に広がったとも言われています。つまり、鮎の放流と関係があるのです。今、国内の河川で天然の鮎が遡上する川は、ごくわずかであり、鮎を売りにしている大半の河川は、鮎の稚魚放流によって成り立っています。しかも、その稚鮎のほとんどが、琵琶湖で採取されて他の川へ放流されています。なんと、その放流稚魚にブラックバスの稚魚が混じっているのです。ブラックバスにしてみれば、えさである鮎とともに放してもらえらるわけですから、こんなに増えやす

◆シーズナル・パターン！

バスがいる川や池にアタリが付いたら、その中のどこを釣ればいいのかを考える必要があります。それを理解するためにはブラックバスの季節における行動(シーズナル・パターン)を考える必要があります。

ブラックバスは、三月から五月頃に深場を伴った浅い場所、水深でいうときれいな水のところなら1.5mくらいの場所、隠れられるような水草(アシなど)がある場所や水が濁った場所なら50cmくらいの所に、円錐型の巣を作ってそこに産卵します。産卵後、約半月程度は、メスは体力の回復をはかって一時期深場へ戻ります。オスは、卵に常に新鮮な水が行くようにヒレで水を送り、卵がかえるまで巣を守り続け、卵がかえると、メスと同じく深場に戻ります。この深場のことをサンクチュアリとよび、このサンクチュアリに戻っている時期は、オスもメスもあまり餌をとらず大変釣りづらい時期になります。ただし、産卵

後述するバスの居場所パターンを当てはめていくだけで、ブラックバスの居場所がわかります。

い条件はありません(図2)。

このようにして全国に広まったと思われませんが、実際に放流した人が手を挙げない限り、推測の領域を出ません。

ブラックバスは外来魚であり、放流行為によって全国各地に広がったわけですから、在来魚とちがいで、放流していない場所には絶対にいません。つまり、ブラックバスが釣りたければブラックバスがいる場所に釣りに行かなくてははいけないってことです。地図を広げてみてください。大手の釣り具店の付近や鮎が釣れる河川およびその河川から水路でつながっている場所であれば、まずバスは間違いなくいます。また、これは大変残念なことです、そうして探した釣り場に、ルアーのパッケージや、釣り糸が捨ててあれば、まず釣れると思って間違いありません。逆に人里離れた山奥の池などにはいない可能性が高くなります。釣り人の心境として誰も釣ったことのない手つかずの場所というのは大変魅力的ですが、ことバスに関して言えば、あまりおいしい場所とはいえません。



は三~五月と個体によって差があるため、すべての個体が同時に餌をとらなくなるわけではありません。

産卵後半月が過ぎると、オス・メスとも体力の回復をはかるために活発に餌を獲り始めます。餌を獲る場所はある程度決まっています、深場から産卵場所周辺の一帯がフレッシュな所(酸素が多いと小魚などの餌が集まりやすいため)が対象のエリアとなります。夏になって水温がどんどん上昇してくるに従ってこの傾向が顕著になり、より酸素の多い場所へ餌場が移動していきます(水が流れ込んでいる場所があればそこがA級ポイントになります)。当然、ブラックバスがみんな仲良く場所を譲り合っていて、なんてことは考えられないので、力ある者(でかい魚)ほどいい場所をキープします。

秋になってやや水温が下がり始めると、バスは冬に向かって食いだめをし始めます。水温が下がると水中の

酸素量が安定してくるために、餌である小魚は、一カ所に集中するのではなくバラバラに拡散していきます。そのためにバスもいろんな場所に拡散していろいろな場所で餌をとります。さらに水温が下がり本格的な冬が来ると深場に戻って二月頃まで越冬します。

二月頃になると産卵に備えて、体力を付けるために産

◆どこをねらうのか？

だいたい季節におけるエリアがわかったら、次は「どこにルアーを投げれば釣れるか」ということになります。このときキモになるのは、障害物です。バスという魚は、シーズナル・パターンに応じて居場所を変えますが、結構臆病なところがあって、必ず身が隠せる場所をキープしています。たとえば深場から産卵場所に移動する際でも、一直線に産卵場所を目指すのではなく、必ず水中の障害物に沿って移動します。そして必ず産卵場所のすぐ手前にある障害物でいったんとどまってから、産卵場所に入っていきます。この現象は、ラブホテルを目指すカップルが道ばたで身を隠しながら移動し、ホテルの前の電柱、もしくは看板のところでいったん入るのを躊躇している姿に似ているため、私は「ラブホテルの手前の電柱理論」と呼んでいます。この電柱さえ見つけられれば、あとはそこにルアーを投げるだけ。バスは必ず釣れます。僕はこの「ラブホテルの手前の電柱理論」を春のパターンとして活用しています。

◆ブラックバスの習性

ブラックバスの正式名称は Large Mouth BASS (日本語に直訳すると大口バス)。名前が表すとおり、その大きな口で動く物ならなんでも食べちゃう大食漢です。とくに小魚、エビ、ザリガニ、小さな昆虫の幼虫、水面に落ちる蜂や蝶、蟬などの昆虫などが大好物！、時には蛇やねずみまで食べちゃうっていうから驚きです。つまり、ブラックバスという魚は、虎やライオンなどと同じ肉食獣(プレデター)なのです(図3)。

厳しい自然の中では、人間の社会のように食堂やレストランに行けばいつでもご飯が食べられる状態とは違い、いつ餌がなくなるかわからないような状況にあるため、



卵場所の手前側で多くの餌をとります。そしてまた産卵、という風な行動パターンを繰り返していきます。つまり深場を中心に産卵場所、水がフレッシュな場所が近くにあるところが一年通してバスがいる場所ということになります。

夏の場合はどうでしょう。夏は水がフレッシュな場所、つまり、流れ込みにおいて、そのフレッシュな水の流れが最初に当たる障害物が一番いい場所になり、そこに一番でかいバスがいます。家庭でも真夏の一番暑い時期にクーラーの風が当たる一番いい場所をキープできるのは、一番力が強いお父さん(いや、お母さんかな…)ですよね。それと同じです。

秋は、魚が散在しているため、一カ所で粘るより場所を移動しながら釣ることで逆に効率が良くなります。

冬は、釣りの方が寒さに耐えられないので、釣りキチ以外の方は、こたつにでも入ってゆっくりしててください。どっちにしろあんまり釣れる時期ではありません。

ねらい場所がきまったら、次はルアーの動かし方。どう動くかをすればブラックバスは釣れるのでしょうか。それは、ブラックバスの習性を理解すると見えてきます。

目の前から逃げるものに対して異常なまでに捕まえようとする習性があります。とくに、急に目の前に現れて逃げようような動作には鋭敏に反応します。ただし、その動くものが何かを確認出来ないうちに通りすぎていったのでは、ブラックバスにしても何がなにやら、わからないだけです。必ず「ルアーを見せてやってから逃げる」というふうに動かすこと、つまり止めては瞬間的に動かし、止めては動かす、を繰り返します。このときルアーがどんな風に動いているかを常に想像しながら動かすのがコツです。これを、障害物にコンタクトさせながら行えばより効果的な動かし方となります。ただし、障害物にルアーが引っかかってしまうリスクも高くなりますが…。

以上のことを理解すれば、もうあなたは、ブラックバスを手にしたも同じです。とはいっても、釣り場に行かないことには釣れません。この夏ぜひ、釣りに行って、BIG ONE を手にしてください。

◆最近の話題から

1999年に一冊の本が出版されました。”秋月岩魚・著「ブラックバスがメダカを食う」(宝島社)”。ブラックバスのことをテレビなどの害魚報道でしか知らない人がみるとなんとショッキングで素人受けしそうなタイトルの本です(誰がみても、いたいけなメダカを食うなんてけしからん!と思いますよね)。著者の秋月氏の本業は、フィッシング、アウトドア、アドベンチャーなどをテーマとした自然派カメラマンであり、自らも岩魚釣りを趣味としています。

今回のこの本の出版は、岩魚釣りの聖地ともいえる奥只見湖(新潟県)でブラックバスが採取されたことに起因しており、彼の主張するところは「ブラックバス全面駆除。バス釣り禁止」だそうです。しかも、その風にあおられるがごとく、新潟県が漁業調整規則を改正し、バスのリリース(一度釣った魚をもう一度湖に帰すこと)を禁止し、罰則規定が設けられました。子供たちが釣ったバスをかわいそうだからといって逃がしたら罪になるという、何とも恐ろしい法律です。また、それらを受けて、バスは在来魚を食い荒らし生態系を乱す「害魚」、との声が強まり、駆除にのりだす沼湖が増え、さらにバス釣りそのものまで否定する風潮さえ生じています。

これまで害魚とは、人間に対して害をなすもの、利益を脅かすものとの考え(つまり、ワカサギ漁師にとってブラックバスは、ワカサギを食べてしまう悪い魚であり、利益を損なわせる魚という意味)で使われてきました。この害魚という概念でいけば、ブラックバスが金になれば、益魚となる可能性もあり、現に河口湖(山梨県)が、ブラックバスを魚種認定して遊漁料を釣り人から徴収したところ、遊漁券利益が一年間で2億円を突破しました。環境悪化、ブラックバスによる食害などで、ワカサギの数が減少していたこともあり、ブラックバスを魚種認定する前の年の遊漁料が、年間わずか2000円だったことを考えれば、地元漁協は、ブラックバス様様です。このようにブラックバスのことをバス釣り師意外でも、益魚扱っている例もあり、正直我々もあまり、重大に受け止めていませんでした。

秋月氏をはじめとするバス駆逐派の人々の論点は、「ブラックバスは、元々日本にいないはずの外来魚であるからにはいけない魚である」という理論であり、在来種を護るという観点に立っています。彼らの目標は、ブラック

バスの完全駆逐です。僕もこのことに関してはもっともだと思いますし、在来種を守っていくのもバス釣り師の使命だとも思っています。しかし、現在これだけブラックバスが全国に広がり、我々が最初に釣った魚がフナだったように、最近の子供にしてみれば、初めて釣った魚がブラックバスという子供たちもいるという現状。ご存知ない方には害魚の認識はないと思いますが、虹鱒なども本来は外来魚であり、少し屁理屈のようになりますが、鯉もまた、中国からの外来魚である点、また、完全駆逐が言葉だけで、実際はいくら労力をかけても完全駆逐できない現実などを加味して考えると、分別ある共存が理想ではないかと思っています。

そんな中、日本釣振興会などでは健全な釣りの振興を推進するため「在来魚と外来魚の棲み分け」「ルアー専用釣り場の増設」などを国に提言。あわせて釣り人に対し「不法な放流はしない」キャンペーンを展開しています。

釣り人としては、ブラックバスだけでなく多くの魚が釣れるように、これらの運動を支持しながら、河川、湖沼、海洋の自然を守っていく必要があると思われます。そのためには、釣り場を汚さないなど身近なところから始めていきたいと思っています。



■あなたと私の情報通信

細胞検査士会だより

第四十三回日本臨床細胞学会の細胞検査士都道府県代表者会議において、「専門医制度」をめぐる討議が行なわれた。

臨床細胞学会では、学会が認定する「細胞診指導医」を、細胞診の「専門医資格」として社会的に認知されたものにするために、厚生労働省告示に合致する方向を目指すかどうかの検討を迫られている。厚生労働省の告示では、「広告が可能な専門医資格」を認定する学会の要件として、「医師会員が八〇%以上を占める」「法人である」「五年間相当の学会としての活動実績がある」等が明記されている（厚生労働省・医療に関する広告規制の緩和について）。

「医師会員が八〇%以上」については、医師会員を正会員、細胞検査士を準会員とすれば要件を満たすことが可能。また、それによって医学会への加盟も認められることから、「医師・正会員、細胞検査士・準会員」案は現状として有力視されている。

一方、「法人である」についても、医師サイドとしては「専門医資格」を取得するという名目において可能であるとの見解を示している。

しかし現況では、法人資格を取る目的で「細胞診断学推進協会」が立ち上げられている経緯もあり、また細胞検査士サイドからの反論も予想され、今後の話し合いが待たれている。ぜひ、会員各位のご意見をお寄せいただきたい。

■三宅康之氏、またまた快挙！

小島三郎記念技術賞を受賞！

川崎医科大学附属病院病院病理部・川崎医科大学現代医学教育博物館

三宅 康之



今回、「肉眼標本の色々な展示保存技術の開発」に対して、平成14年度「第37回小島三郎記念技術賞」を受賞する運びとなりました。この賞は、国立予防研究所所長であった小島三郎博士の逝去に遭いその遺徳を顕彰するため、当時の国立予防衛生研究所所長・福見秀雄博士をはじめ、博士の門下生ならびに黒住剛氏（栄研化学株式会社）が相集まり、昭和40年（1965年）に「小島三郎記念会」が発足されたことに端を発する、臨床ならびに衛生検査領域においてすぐれた検査方法・術式の考案改良を行い検査技術の普及発展に功績のあったものに贈られる賞です。岡山県では1973年（昭和48年）に故笠原和恵先生（岡山済生会病院）が、1989年（平成元年）に金光房江先生（倉敷中央病院）が受賞されています。

このような大変名誉ある賞をいただいたこと、本当に感謝に堪えません。このような賞をいただくためには色々な条件が必要で、決して一人の力でできるものではありません。好き勝手にやっている自分に文句も言わず、そればかりか少しのアイデアを出すだけで新しい技術開発に取り組み、協力してくれた博物館の良きスタッフや、いくつもの失敗があっても、暖かく見守っていただいた館長の山下貢司先生をはじめとする周囲の多くの先生方の協力があってこそだと思います。さらに、賞を受賞

するためには推薦者が必要です。西先生（九州がんセンター）が講演に来られたときに博物館を案内しました。その時、「ぜひ小島三郎記念技術賞に推薦したい」と暖かいお言葉をいただきました。いろいろ賞はありますが、いずれにしても推薦していただかなければ受賞はあり得ません。世の中、本当に周囲の人々との関わりの中で生きているのだということを痛感させられました。この賞の優れている点の一つに、夫婦で授賞式に招待していただけること、また、家族の出席も認められていることがあります。母（73歳）は腰痛のため今回は出席できませんが、非常に喜んでくれています。義理の母（83歳）は元気で、ぜひ出席すると言っています。本当にこのような機会がなければ、なかなか東京に連れて行くなどの親孝行はできないものです。また、父親はすでに他界いたしました。現在私が父のように慕っております恩師の佐々木匡秀先生（川短：臨床検査科創設者）にお会いできる機会を得られたことも大いに感謝しているところです。この賞の名に恥じないように今後も精進していきたいと思っております。

これから私もこの賞の推薦者の一人になります。どんどん推薦しますので、皆様もがんばってください。岡山でも私に続いて多くの方が受賞されるよう期待しております。

■今年の新入会員をご紹介

新人さん、いらっしやい！

浜田和久さん(津山中央病院)

はじめまして。総会を欠席しました、津山中央病院の浜田です。最近では心電図に目覚め、超音波検査士を目指して精進している今日この頃です。細胞診は、いつかはさせてもらえるだろうと期待に胸を膨らませています。

プロフィール：大阪成人病センター細胞診スクリーナー養成所を卒業後、津山中央病院に就職。津山中央病院の細胞診第一人者として試練に立ち向う超新人。



秀坂 恵さん(川崎医科大学附属病院)

川崎医科大学附属病院病理部に勤務しています、秀坂恵と申します。所属は外科病理です。3月に結婚しまして名字が変わりました。旧姓は田村です。毎日細胞診の業務に携わっていないので、せっかく免許を取っ

たのも水の泡…とならないために、人一倍頑張ろうと思いません。これからが本当の始まりなので、しっかり勉強して行こうと思っています。御指導の方どうぞよろしくお願い致します。



久保木敏裕さん(金田病院)

はじめまして、金田病院の久保木と申します。多くの方々の力を借りまして、やっとこの会に仲間入りする事ができました。とくに、ならもとさつき様に尻をしばかれながら、涙ながらに頑張っ、合格にこぎつけました(それに加え、今年同じ病院にやって来た!・おそろしー!!)。[檜本談：今では逆に久保木先生にしごかれて、涙・

涙の毎日です…。] やっと、スタートラインに立てました。これから、諸先輩方に御指導いただきながら、一生懸命頑張っていこうと思ひます。よろしくお願ひします。プロフィール：昭和48年3月27日生まれ、おひつじ座、O型。趣味は、オカつり・ウミつり・カワつり、スノーボード。釣りに関しては、強者が多い(?)といううわさの

岡山細胞検査士会…、何卒よろしくお願ひいたします。





ちよつと

読んで見ませんが

第6回

事故はこうして始まった！ -ヒューマン・エラーの恐怖-

スティーブン・ケイシー・著/赤松幹之・訳（化学同人 1996年）

本書はスティーブン・ケイシー著「Set Phasers on Stun - and Other True Tales of Design, Technology, and Human Error」を赤松幹之氏が日本語訳にしたものである。ヒューマン・エラーによる医療事故という不運な出来事が、私たちの身の回りで増えてきている。本来ならば医療は患者の健康を取り戻すための手助けを行うはずのものなのに、ヒューマン・エラーによる医療過誤により、患者が傷つけられたり、命を奪われてしまっている。今回、紹介する『事故はこうして始まった！ -ヒューマン・エラーの恐怖-』は著者が10年以上もの間ニュース記事を収集し、装置やシステムの設計がヒューマン・エラーを引き起こすことによって重大な事故や惨事の誘因となった18の事例を掲載している。読んでいただければ、技術や設計、そして人間の行動がもつ多くの側面を知り、人間と機械の織りなすpitfallの恐ろしさを学び取ることができると確信する。人間は誤りをおかすものであり、その行為は完璧とはなり得ない。またそれを完全に取り除くことは不可能であることを前提とし、我々が行っている細胞診・病理検査についてももう一度考えてみる必要性を感じた。そのためにも、日常検査の一環として医療事故予防ならびに精度管理対策としてのTotal quality management (TQM)への取り組みが必要不可欠なものとする¹⁾。我々は21世紀の初頭を川崎医科大学附属病院病理部門の精度管理元年と位置付け、外科病理、細胞診さらに病理解剖部門での継続的なクオリティ改善プログラムに取り組んでいるので簡単に紹介する。クオリティ改善プログラムは、

- ①検体の確認、
- ②報告書の完全さ、
- ③診断の正確度、
- ④塗抹細胞診材料の陰性例の再検討、
- ⑤凍結切片と最終診断との一致度、
- ⑥「診断不明」症例の抽出、

などの基本業務を主軸とし、さらに

- ⑦臨床医による不十分な細胞診採取検体の抽出、
- ⑧検体の種類別に凍結切片枚数の記載、
- ⑨検体の種類と診断名ごとの検体数の記載、
- ⑩細胞診と組織診断との相関等までをその骨子としている。

また、リシーマニュアル（検査室が遂行しなければならない専門的業務に取り組む際に準拠すべき方法を詳細にのべたもの）では、

- ①職員の資格、
- ②クオリティコントロール、
- ③不適切にあるいは誤って確認された検体の取り扱い、
- ④診断に不十分な検体の定義、
- ⑤相矛盾した診断の解決法、
- ⑥スライドの保存と再取り出しの手順、
- ⑦結果報告の方法、
- ⑧報告書と病理検査検体（スライド、ブロック等を含む）

の保存等についても「病理検査の手引き」としてマニュアル化している²⁾。近代医学の発達は、ここ50年程のことにすぎず、未だ完全なものからはほど遠い。また、人間の行為にはミスがつきものである。しかし、ミスがつきものであるからといってそれに甘んじている訳にはいかない。医療は合理的かつ能率的に行われるべきものであり、またその過程でミスが起こらないように努力することは医療人に課せられた義務であり責任でもある。ミスが起こらないようにするためには、起こらないようにする努力目標をもつこと、そして起こったミスから学び、二度と起こらないような対策を立てることが肝要であることを念頭に取り組んでいかなければならない。ぜひ、みなさまに『事故はこうして始まった！ -ヒューマン・エラーの恐怖-』を一読していただき、また下記の論文も参考として、ヒューマン・エラーの防止に役立てていただきたいと思います。

参考文献

1) College of American Pathologists: Quality improvement manual in anatomic pathology. CAP Northfield Illinois, USA, 1995（本マニュアルの翻訳は1997年6月から1998年5月まで雑誌「病理と臨床」に連載され、その後日本病理医協会によって製本され各病院に配布されている）

2) 畠 榮、真鍋俊明、病理検査技術の精度管理 病理と臨床 Vol19.1328-1334 2001

■四の五の言わずに読んでみられい！

コラム・うちの本棚⑤

”「キリスト教は初めて」という人のための本”

—ヨハネの福音書3章 16 節から—

著者：内田和彦

発行：いのちのことば社/定価：本体 500 円＋税

パソコン読者の皆様こんにちは。さて今回ご紹介するのは、プロテスタントの牧師であり哲学者である内田和彦氏の著書”「キリスト教は初めて」という人のための本”という本です。私は決してヨイ人などではないのですが、実はクリスチャンなのです。そして、トウゼンのことながらといいますか、あらゆる本の中で最高！と思うのが”聖書”です。

嘗て聖書の記者の一人は、「御言葉（聖書のことば）は蜜よりも甘い」と語り、多くのクリスチャンの先人達は、「聖書は宝の山である」と感嘆しました。私自身ささやかな経験を通しながらも心より共感いたします。しかし、この聖書、一度でも開いたことのある方はお分かりでしょうがそう簡単に理解できるものではありません。聖書のことばはシンプルでありながら人間の知恵を超えたものといわれます。そこで、聖書の中心テーマをわかりやすく小さくまとめたこの本は「聖書の中には何がある？」と興味をお持ちの方には最適の本の一つであろうと考えます。内田氏は、東京大学文学部、聖書神学舎卒業後、埼玉県大宮市で牧会、その後、米国と英国に留学し新約聖書、とくに福音書に関する研究でスコットランドのアバディン大学より哲学博士号を取得しています。

”「キリスト教は初めて」…”では、新約聖書に収められているヨハネの福音書の中の有名な一

説、「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠の命を持つためである。」ということばを通し、聖書全体が伝えようとしている「福音」（喜びの知らせ）が何であるかをできるだけやさしく説明しようとしています。

（あとがき）のなかで内田氏は、『キリスト教の「入門書」はたくさんあります。それぞれ心打たれる感動的な話や、深い思索が記されていて、すばらしいものです。でも私はできるだけ聖書そのものを、それも「キリスト教は初めて」という人にわかっていただけのように、小さな本を書きたいと思いました。』と記しています。

この本を通し聖書の中の希望に出会われる方が一人でも起こされればと祈りつつご案内いたします。

因みに、キリスト教の専門書籍であるこの本は一般書店では取り寄せになりますが、岡山市丸の内（シンフォニーホールの通りをはさんだ東向かい、チサンホテル隣り）にあるキリスト教書店 CLC BOOKS にはたいてい置いてあります。賛美歌の流れる店内へは、もちろん誰でも自由に入れますよ。但し日曜日はお休みです。

By 隠れクリシタン K 子

編◆集◆後◆記

例年、この会報の企画を立てる時期になると必ず、「なにかネタあったら原稿お願いします」と三宅会長に声をかけることにしている。ほぼ毎号、寄稿いただいていたことでもあり、きっと何とかしてくださるだろうと期待して、とりあえず今回も依頼を出しておいた。そんなある日、次のようなメッセージの書かれたメールが三宅氏から送られてきた。「このたび小島三郎記念賞を受賞の運びとなったので、そのことについて書きます」——これを読んで私が最初に思ったのは、「三宅さん、いつ演歌デビューしたんだ？」ということであった。「小島三郎」を「北島三郎」と見誤ったわけだ（とほほ）。モノを知らないというのはじつにどうも悲しいことである。臨床細胞学会技師賞に続いての受賞は、まさに快挙。この場をお借りして心からのお祝いを申しあげたい。こうなったら、ついでに北島三郎記念賞も狙ってみてはいかがだろうか（あるのか、そんな賞？）。

◆発行 岡山細胞検査士会 ◆発行日 平成14年7月6日



藤田 勝



中山みのり



小原 明子
